

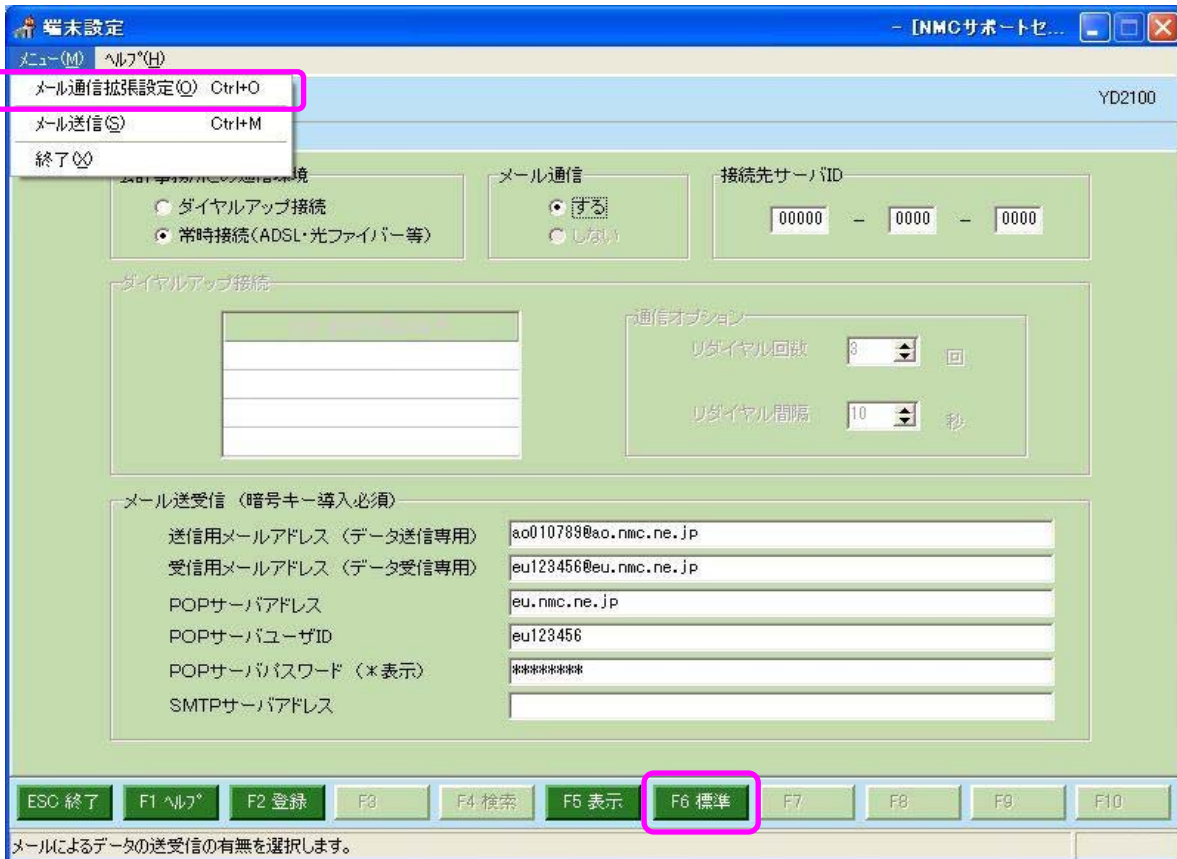
# CASH RADAR Pro メール通信機能

## ～メール通信「CRPro標準設定」対応プログラム ダウンロード後の通信設定～

1/2

2006年10月初旬にサポートセンターWeb掲載予定の、メール通信「CRPro標準設定」対応プログラムをダウンロードすると、[通信設定]メニューの内容が一部変更されます。

CRPro顧問先端末～システム管理・端末設定(通信設定)タブ



★ [F6標準]ボタンを追加しました。

★ 『メール通信拡張設定』機能を追加しました。(これにともない[POPbeforeSMTP認証 する/しない]の欄を廃止しました)

### I. [F6標準]ボタンについて

このボタンを押すと、自動的に下記「CRPro標準設定」の内容が設定されます。

POPサーバアドレス	eu.nmc.ne.jp
SMTPサーバアドレス	eu.nmc.ne.jp
送信ポート	587番(※)
認証方法	SMTP AUTH(※)

(※)設定画面はありません

CRPro標準設定を行うことで、ご利用のISPを問わずにメール方式によるデータ送受信が可能になります。(詳細下記URL)

[http://www.nmc.ne.jp/crp/osirase/SN060915\\_1.pdf](http://www.nmc.ne.jp/crp/osirase/SN060915_1.pdf)

- ◆「CRPro標準設定」でもデータ送信(および受信要求通知の送信)で[E3033]・[E3034]エラーが発生する場合は？  
ご利用の通信機器やファイアウォールにおいて、サブミッションポート「587番」を意図的に閉じる設定がされている事が考えられます。ネットワーク管理者にご相談いただき「587番」を開く設定変更を行って下さい。  
セキュリティ上サブミッションポート「587番」を開ける事ができない場合は、CRPro標準設定は使用せず、『メール通信拡張設定』機能(次項参照)でご利用のISPに沿った通信方法を設定して下さい。

# CASH RADAR Pro メール通信機能

## ～メール通信「CRPro標準設定」対応プログラム ダウンロード後の通信設定～

2/2

### II. メール通信拡張設定について

CRPro標準設定を使用しない場合(=以下の条件に合致する場合)にアクティブになる機能です。送信ポートなどを任意の内容に設定する事ができます。

アクティブになる条件・・・SMTPサーバアドレス欄が「eu.nmc.ne.jp」以外の内容である場合 (例: abc.xyz.plala.or.jp)

① サーバのポート番号

SMTP 25 (標準:25 ユーザ認証使用時標準:587)

POP3 110 (標準:110)

② 認証方法

プロバイダ指定のPOP before SMTPを使用する

認証用POP3サーバ

ユーザーID

パスワード(\*表示)

使用ポート番号 110 (標準:110)

プロバイダ指定のユーザー認証(SMTP AUTH)を使用する

ユーザーID

パスワード(\*表示)

設定(F2) キャンセル(ESC)

各項目の登録内容は、ご利用のISPによって異なります。

#### <設定項目について>

① **サーバのポート番号** …ご利用のインターネット環境に基づいて設定してください。

② **認証方法** …必要に応じてメール送信時の認証方法を設定します。  
設定すべき認証方法は各プロバイダのWebサイト等でご確認下さい。

プロバイダ指定のPOPbeforeSMTPを使用する

チェックを入れた上で、ISPから配布された項目を登録して下さい。

プロバイダ指定のユーザー認証(SMTP AUTH)を使用する

チェックを入れた上で、ISPから配布された項目を登録して下さい。

いずれも使用しない

上記いずれにもチェックを入れないで下さい。

対応プログラムダウンロード前に正常に通信ができていた場合は、この状態となります。

※ SMTPサーバアドレス欄を既にISPの内容で登録している顧問先端末が今回のダウンロードを行った場合、同欄は従前の登録内容(◆)のままになります。『メール通信拡張機能』の利用が可能な状態になりますが、内容の変更は必要ありません。

(◆)SMTP=25、POP=110、認証方法=いずれにもチェックなし

以上

平成18年9月26日  
株式会社エヌエムシイ サポートセンター